



アルゼンチン通信



第14号 2025年09月30日発行(毎月月末発行予定)

JICAシニア海外協力隊2024年1次隊:経営管理

玉東町グローバル2024年03月卒業生

鈴木功二 サンティアゴ・デル・エステロ在住

・9月の気候は、朝は10℃近くで半袖では少し肌寒く、日中は30℃を超えて真夏に感じる日が続きました。季節としては春ですが、凍えるような冬の寒さがなかった為か、春の到来を祝うような気分にはなっていません。

・日本で春といえば「桜」、特にソメイヨシノのピンク色の花が2週間ほどで散って、道路がピンク色に染まる光景を私は思い浮かべますが、ここでは桜を見たことがありません。その代わりに、ラパチョという木が街路でピンク色の花を咲き誇ります。遠くから見るとピンク色なので桜と似ていますが、花の形状は全く違います。私は南アフリカで見たジャガランダに似ていると思ったのですが、「科」としては同じ仲間のようです。

・日本で春の果物といえば「イチゴ」、こちらにもイチゴはあって今が旬です。いつも通っている八百屋では、屋外で売られています。日本ではきれいにパック詰めされ、冷蔵された状態で売られていますが、こちらでは常温でばら売り、キロ単位で買います。日本のイチゴのように甘くはありませんが、イチゴの元々の味はこうだったんだろうと思わせるような酸っぱく素朴な味がします。日本よりはずっと安いので気軽に食べることができます。こちらでは、葉野菜や果物を冷蔵して販売する習慣がなく、一日の気温差が激しく傷むのが早いので、新鮮なうちに買う必要があります。

【街路で満開のラパチョ】



【屋外でばら売りされているイチゴ】



今回は、私が勤務している事務所に隣接した展示場でのイベントについて、報告します。

・この展示場は、日本の学校の体育館よりも数倍大きく、幅が65m、奥行130m、高さは7mもあるそうです。十分なスペースがない学校の卒業式の会場、パンの製造機や作業療法に使う器具等の見本市、フィギアローラースケートや柔道や球技等のアルゼンチン国内のスポーツ大会、コンサートや格闘技の有料イベント、それと様々な科学技術フェア等に使われています。その科学技術フェアの中でも、州内の高校から選抜された環境をテーマにした展示を紹介します。

・日本の高校にも「文化祭」があって、部活動の研究成果を展示するのと似ています。しかし、通常は学校単位で行われており、県内の学校から選抜して展示を行うことはありません。また、日本では生徒主体ですが、こちらでは、私がブースで学生に質問していると、担当の先生が生徒に替わって私に回答する場面がしばしばあったので、教師も深く関わっている印象を受けました。

・展示内容は、ブースによって異なりますが、基本的に、①問題は何か？→②その原因は何か？→③その原因によって何が起きるのか？→④その原因に対する対策は何か？という判り易いストーリーになっていました。

・テーマとしては、生物多様性のような大きなテーマから、路上のゴミ放置問題、水道水の汚染問題、都市の温度上昇問題のような身近なテーマがあり、ペットボトルを使った汚染水の浄化装置や、入手しやすい天然素材を使ったデング熱予防の蚊除け液等、実用的に使えるものも展示されていて興味深かったです。

・高校の生徒と話していて私が感心したことは、どの生徒も研究した内容を淀みなく流れるように私に説明してくれたことです。原稿なしでスピーチする能力はこの年頃から培われているんですね。

・学生と話している中で、私が思ったことは二つあります。一つは、貧富の格差による経済成長への影響です。今、私がいる事務所には、周りに柵があり、セキュリティの人がいて、安全です。しかし、近くに「貧困地区」があり、同僚からは「そこを歩かない方がよい。」と注意されています。私は高架鉄道に乗って通勤していますが、その高架から見た「貧困地区」の雰囲気は、展示場の雰囲気とは別世界です。州の地方から、研究成果の発表に来ることができる学生がいる一方で、その貧困地区には学校があって生徒もいる。貧困率が減少傾向にあるとはいえ、全ての学生が同等レベルの教育を受けているとは言えず、街中ではお菓子を売り歩く少年少女を見かけることがあり、胸が痛みます。かつて日本が高度経済成長できた一因は、教育格差が少なかった為で、その結果、「一億総中流」と言われるほど中間層が増えたと私は理解しています。貧富の格差によって教育に格差ができ、その格差があり過ぎると、中間層が増えず、経済成長に影響するのではと思います。

・もう一つは、彼らのような科学技術に興味を持った優秀な人財が社会で活躍できるか？です。この州のメイン産業は農業、林業、畜産業等で、学んだ科学技術をそれぞれの分野で付加価値を高めていく、例えば、農産物の品種改良、栽培方法や販売方法を改善して、商品価値を高める余地は充分にあり、活躍する場があります。しかし、問題は、産業や会社が、今までのやり方を変えて、投資してでも、商品価値を高めて変革していくモチベーションがあるか、また、その高めた商品価値を受け入れる市場があるのかです。その為には、国全体の所得が上がり、特に中間層が増える必要があると思いました。

【アルゼンチン柔道大会】



【州の科学技術フェア】



【手作り感満載、蚊よけ液の作り方】



【手作りの蚊よけ液】

